

# 平成 30 年度 芳賀赤十字病院初期臨床研修プログラム

## I. 病院の沿革・特徴

芳賀赤十字病院は、1922 年 4 月に多くの地域篤志家の方々により設立され、1949 年 7 月に日本赤十字社栃木県支部芳賀赤十字病院として発足以来現在まで、栃木県南東部の芳賀郡市 1 市 4 町を中心とした地域の唯一の公的医療機関であり、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、地域住民の生命と健康を守る地域医療の中心的役割を担っている。

当院は、救急告示病院であり、人口 15 万人余りの当該地域における二次救急医療施設として、月平均 350 件余の救急車搬送患者を受入れている。急性期病院として、地域の診療所と連携し、内科及び外科系の二次救急、特に小児救急については地域の救急拠点病院の役割を担っている。また、小児・産婦人科の連携によるハイリスク分娩、低出生体重児等の周産期にかかる比較的高度な医療を行っている。

他方、リハビリスタッフによる退院指導など、急性期治療を経過した患者さんに在宅等への復帰支援をサポートしている。また、訪問看護ステーションを開設しており、在宅医療を幅広く地域住民に提供している。さらに、赤十字病院である当院は、災害派遣要員を積極的に養成し国内外を問わず救援活動に参加している。

## II. 病院概要

開設者：日本赤十字社

病院長名：安田 是和

許可病床数：369 床（うち人間ドック 10 床）

標榜診療科：29 科 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、小児外科、形成外科、乳腺科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科、歯科、歯科口腔外科

常勤医師数（歯科医師を含む）56 名（平成 30 年 4 月 1 日現在）

指導医数 35 名（うち指導医養成講習会修了 19 名）

## III. 医療機関等の指定状況

災害拠点病院

へき地医療拠点病院

地域周産期医療機関

エイズ診療拠点病院

脳卒中地域拠点医療機関

肝疾患専門医療機関

臨床研修指定病院

日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

地域がん診療病院

## IV. 臨床研修の目標の概要

医師である前に一人の人間であることを意識しながら、医師としての人格・技術を涵養し、将来の専門性にかかわらず、地域に暮らす人々の医療ニーズに応えながら、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診療能力を身につけ、さらに、患者の意思を尊重し安全な医療が提供できる、全人的な診療能力を持った医師を養成する。

## V. プログラムの名称と特徴

### <名 称> 芳賀赤十字病院初期臨床研修プログラム

#### <ローテーション例>

1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科系（循環器・腎臓・呼吸器・血液・神経・一般）						消化器系（消化器内科・消化器外科・一般外科・泌尿器科）			救急部門		麻酔科

2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科系（整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科）			周産期（産婦人科）	周産期（小児科）	精神科	地域医療	地域保健	選択	選択	選択	

#### <募集定員> 5名

#### <プログラム指導者と連携施設>

- ・プログラム指導責任者 副院長兼第一内科部長 村上 善昭
- ・プログラム責任者 副院長兼第一産婦人科部長 渡辺 尚
- ・基幹病院 芳賀赤十字病院
- ・連携施設（研修協力病院・協力施設）と研修分野  
 精神科研修・・・自治医科大学附属病院、烏山台病院  
 臨床病理検討会・・・芳賀赤十字病院、自治医科大学附属病院（芳賀赤十字病院（自治医科大学附属病院病理医師同席）、自治医科大学附属病院で行われる臨床病理検討会に参加する。）  
 地域医療・・・芳賀赤十字訪問看護ステーション、福田記念病院、真岡病院、桜井内科クリニック、真岡中央クリニック、高橋内科クリニック、真岡皮膚科クリニック  
 地域保健・・・県内広域健康福祉センター

#### <特 徴> 基本的なことをしっかり学ぶ目標達成率の高いプログラム

1. 研修医は、内科系（循環器・腎臓・呼吸器・血液・神経・一般内科）、消化器系（消化器内科・消化器外科・一般外科・泌尿器科疾患）、外科系（整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科）、救急部門、麻酔科、周産期（小児科・産婦人科）を病棟ごとに8つのグループに分け、厚生労働省の研修到達目標を十分に到達できるようにすべての領域をローテーションする。
2. 救急研修では、定期的に救急当直を担当し、救急外来にきた全科の救急患者の診療にあたる。救急研修以外でも、日常診療において救急対応・日当直研修時において経験する。
3. 病棟での研修は、診療科が混合（一部を除き）しており、研修目標としているすべての症例を経験することができるように構成している。複数の疾患を複数の指導医とともに担当し、臓器にとらわれない研修をする。各病棟では、研修分野の疾患および処置を適宜研修する。どのように診療科に帰属するかについては、担当スタッフと研修医とで決める。

4. 選択期間は3ヶ月を設けている。全科より3科まで選択する。
5. 地域医療研修では、へき地巡回診療や訪問診療を研修する。また、地域の診療所、芳賀赤十字訪問看護ステーションにて研修する。
6. 赤十字病院の特徴である災害救護研修に参加する。
7. 当院と連携する自治医科大学附属病院では、精神・神経系疾患領域を研修する。また、臨床病理検討会に参加する。
8. 当院では、ローテートする病棟の8つのグループすべてに臨床研修指導医講習会を修了した指導医をおいている。医師臨床研修制度で定められている研修目標の達成のために、指導医をはじめ、看護部門、医療技術部門、事務部門の教育研修担当者を含む病院全スタッフ及び地域のスタッフが研修医をサポートする。

## VI. 教育過程

本プログラムによる初期臨床研修は、毎年4月1日から開始するものとし、研修期間は2年間とする。研修開始前にオリエンテーションとして、院内諸規定、施設設備の概要と利用法などにつき説明を行う。

### (1) 臨床研修医のためのオリエンテーションの実施

臨床研修に先立ち、効果的な研修が行なわれるようにするとともに、当院医師として知っておくべき事項を周知する。4月1日から1週間程度の芳賀赤十字病院新規採用職員オリエンテーションと並列して行う。

### (2) カンファレンス・各種研修会等の実施

カンファレンス、その他院内外で行われる研修会・勉強会には積極的に参加する。

教育・研修への参加状況は研修医手帳に明記される。臨時に行われる勉強会等は、その都度医局内掲示する。

#### 主な研修会・勉強会

- ・臨床病理検討会（院内開催及び自治医科大学附属病院で行われる臨床病理検討会に参加する）
- ・各科カンファレンス
- ・医療安全にかかる研修会
- ・院内感染にかかる講習会
- ・医薬品安全管理研修会
- ・医療機器安全管理研修会
- ・保険診療にかかる研修会
- ・プライマリケア勉強会
- ・病診連携懇話会
- ・NST勉強会
- ・クリニカルパス勉強会
- ・褥瘡対策委員会主催研修会
- ・輸血委員会主催研修会
- ・赤十字施設臨床研修医研修会（1年次）
- ・赤十字災害救護にかかる研修会

### (3) 当直研修

日当直研修は、救急研修の目的で行う。研修医は、指導医あるいは上級医のもとで救急外来に来院した救急患者の診療にあたる。

## VII. 研修評価

各研修医には研修手帳、研修評価表が配布され、各研修医は研修を受けた各科において経験した疾患、講習、基本技術などを記載する。

各研修医は、各科研修終了時に自己評価を行う。指導医はその内容を吟味し、臨床研修管理委員会に報告する。また、指導医は、研修医に対し必要に応じて指導・助言を行う。

2年間の研修終了時には、指導医の研修評価をもとに、臨床研修管理委員会が修了認定を行う。研修到達目標は、別添参照。

## VIII. プログラム修了後の進路

初期臨床研修プログラムを修了した者の進路については、当人の希望に応じてできる限りの支援を行うものとする。当院において、専門医・認定医等を取得するために後期研修をすることができる。当院では、関連学会のプログラムにより専門医・認定医等を養成している。赤十字職員として、安定した身分で研修に専念できる。また、各大学、他病院に勤務を移す場合には、情報提供等できうる限りの支援を行う。

## IX. 関連学会認定研修施設の状況

日本内科学会教育関連病院

日本消化器病学会研修関連施設

日本透析医学会教育関連施設

日本外科学会専門医制度専門医修練施設

日本大腸肛門病学会認定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本小児科学会専門医研修施設

日本アレルギー学会専門医準教育施設

日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本小児口腔外科学会認定医制度研修施設

日本感染症学会研修施設

日本眼科学会研修施設

日本消化器内視鏡学会専門医指導施設

日本腎臓学会研修施設

日本循環器学会専門医研修関連施設

日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本脳卒中学会認定研修教育病院

日本小児循環器学会専門医修練施設

日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医  
暫定研修施設

日本麻酔科学会麻酔科認定施設

日本泌尿器科学会専門医制度専門医教育施設

日本口腔外科学会専門医制度認定関連研修施設

日本医学放射線学会専門医修練施設

日本臨床衛生検査技師会精度保証施設

## X. 研修医の処遇

身 分： 研修医（常勤嘱託職員）  
研 修 手 当： 1年次 400,000 円/月（税込み） 2年次 450,000 円/月（税込み）  
賞 与： 1年次 400,000 円/年（税込み） 2年次 450,000 円/年（税込み）  
勤 務 時 間： 平日 午前8時30分～午後4時51分まで（休憩60分）  
土曜日（第1・3のみ） 午前8時30分～午後0時30分まで  
ただし、患者さんの状態、急変時対応により院内待機となることもある。  
協力病院・施設での研修中は、協力病院・施設の諸規定に従う。  
当 直： 月平均4回程度 当直手当あり  
時 間 外： 無 ただし、指導医が、研修上必要と認めた場合手当あり  
宿 舎： 無 ただし、借家手当あり（上限28,500円）  
休 日： 日曜日、祝祭日、第2・第4・第5土曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、  
創立記念日（7月1日）  
有 給 休 暇： 1年次15日 2年次21日  
特別休暇（夏期休暇・忌引き等）： 有（正規職員に準ずる）  
社会保険等： 健康保険・雇用保険・厚生年金・年金基金等加入  
労働者災害補償保険法の適用： 有  
医師賠償責任 病院自体の加入： 有  
健 康 管 理： 健康診断は正規職員と同様 メンタルサポート体制有  
研 修 医 室： 有  
学会、研究会への参加： 可 参加旅費支給： 有  
そ の 他： アルバイトは一切認めない。

## XI. 研修医の募集及び採用の方法

募集方法： 公募  
応募資格： 平成31年3月卒業、医師国家試験合格見込み者  
応募書類：

- ・選考試験申込書（所定のもの）
- ・履歴書（所定のもの）
- ・卒業見込証明書または卒業証明書

選考方法： 面接  
募集期間： 平成30年7月から8月ごろ  
選考時期： 平成30年8月ごろ  
※都合のつかない場合は、相談に応じます。  
選考結果： 選考委員の意見を院長に上申する。最終決定は、医師臨床研修マッチング協議会によるマッチングの結果とする。マッチングで定員に満たない場合は、独自公募を実施する。

## XII. 資料請求先

〒321-4306 栃木県真岡市台町2461 芳賀赤十字病院 総務課  
TEL 0285-82-2195 FAX 0285-84-3332